

えんまん**ITC**ケース研修

0.はじめに

インストラクタ
山戸 昭三



0.1.研修日時時間(テーマ)

開催日 9:30～18:00	回	テーマ
第1日目 2022/5/21(土)	01	IT経営とは
	02	IT経営の認識
	03	変革構想書
第2日目 2022/5/28(土)	04	経営環境の分析
	05	あるべき姿の構築
第3日目 2022/6/04(土)	06	経営リスクの評価と対応
	07	経営戦略策定
第4日目 2022/6/11(土)	08	経営戦略の展開
	09	業務改革
第5日目 2022/6/18(土)	10	IT戦略
	11	IT資源調達
第6日目 2022/6/25(土)	12	IT導入とITサービス利活用
	13	持続的成長の認識
	14	新たな旅立ち

0.2.テーマと検討課題

回	テーマ	検討課題
01	IT経営とは	課題1「変革構想の検討とコミットメント」
02	IT経営の認識	
03	変革構想書	
04	経営環境の分析	課題2「企業理念・使命の確認と経営環境情報収集・分析」
05	あるべき姿の構築	課題3「あるべき姿の構築」
06	経営リスクの評価と対応	課題4「経営リスクの評価と対応」
07	経営戦略策定	課題5「経営戦略策定」
08	経営戦略の展開	課題6「経営戦略の展開」
09	業務改革	課題7「IT戦略の策定と展開」
10	IT戦略	
11	IT資源調達	課題8「IT資源調達」
12	IT導入とITサービス利活用	課題9「IT導入」、課題10「ITサービス利活用」
13	持続的成長の認識	課題11「持続的成長認識」、課題12「変革マネジメント」
14	新たな旅立ち	学生の決意表明、プレゼン内容についてのチーム討議



ケース研修を始める前に



0.4. ケース研修を始める前に

目的

あらゆる組織に適応可能なベストプラクティスである**IT経営プロセス**（**IT経営推進プロセスガイドライン**）を活用した活動を疑似体験することによって、**IT経営の推進方法**、および**ITコーディネータの業務や使命**を修得する

IT経営推進プロセスガイドライン

Ver. 3.0

特定非営利活動法人 ITコーディネータ協会



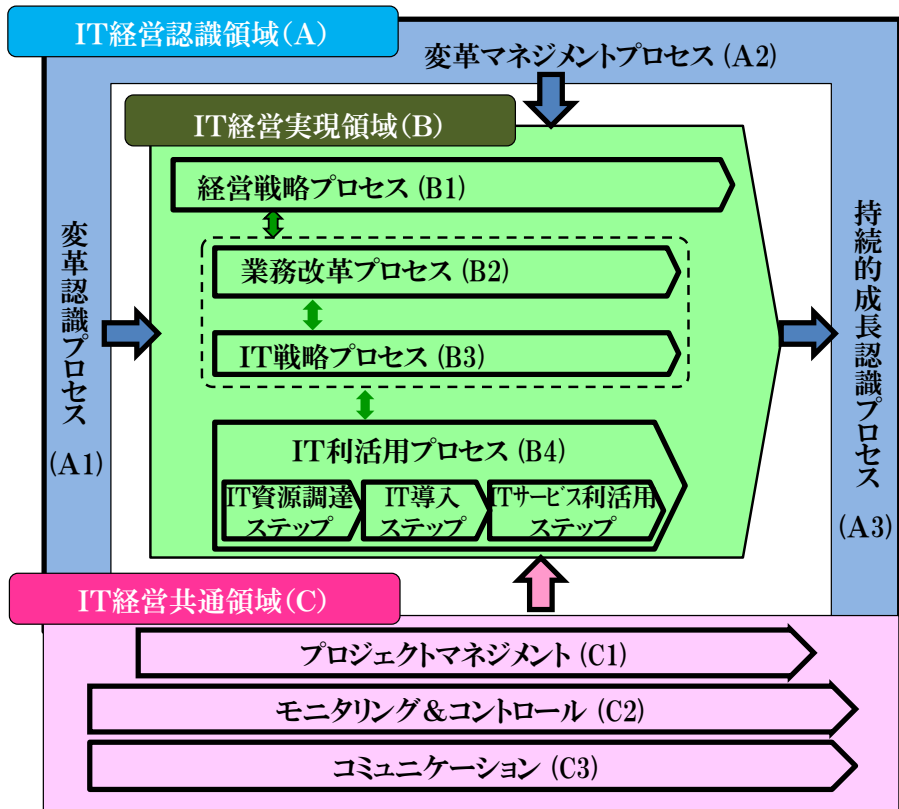
あらゆる組織に適応可能なベストプラクティス



0.5. ケース研修を始める前に

どのように目的を達成する

ケース研修は、「IT経営認識領域(A)」と「IT経営実現領域(B)」にわたるIT経営を実践するモデル企業の事例を題材に「グループ討議(チーム演習)」、「ロールプレイ」を通じた模擬体験により、ITコーディネータの業務や使命を理解する



IT経営認識領域(A)
経営や組織の変革認識(マインド)を醸成する活動領域

IT経営実現領域(B)
具体的なITサービスの利活用によって経営戦略を実現させる活動領域

IT経営共通領域(C)
領域横断の共通活動を定義する基盤的活動領域

0.6.グループとチームの違い

グループ

「**人の集まり**」、明確なゴールがなくても、何らかの目的を持った組織だから、同じ役職だから、入社時の同期だから、といった理由でも人の集まりはできる。しかし、それだけではチームとは呼べない。

チーム（本研修ではこちらを使います）

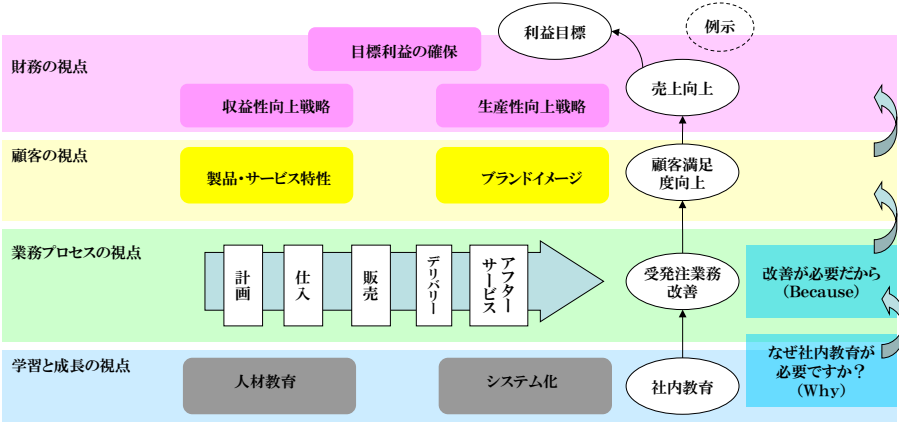
- ゴールが困難でも、目的を皆が理解していて、そこへ向かう過程を楽しんでいる。
- ゴールを達成することで得られる報酬以上に、**チームで活動すること自体から得られる“刺激”や“やりがい”、“達成感”**を求めている。
- 「失敗しないこと」ではなく、「達成すべきゴール」に焦点を当てている。
- 仲間の間での**意見の衝突を恐れない**。**意見をぶつけ合うことから新しい価値が生まれる**ことを知っている。
- それぞれが**責任を果たすことに誇り**を持っている。
- お互いの**よいところを認め合い、敬意を持って**接している。
- 誰も集団のために自己犠牲をする必要がない。
- 誰かが犠牲となってゴールを達成することは美徳ではないと知っている



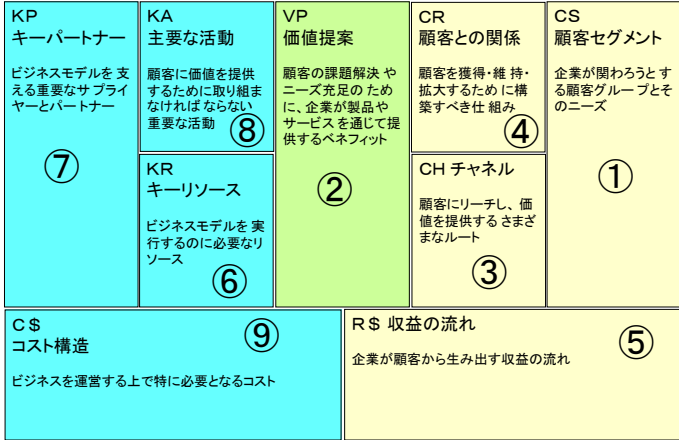
0.7. ケース研修を始める前に

どのようなことを学ぶ

IT経営プロセスの理解、ツール類(**BSC**、**経営成熟度モデル**等)の修得、新たな気づきの獲得、人的ネットワークの形成、ファシリテーション能力向上、コミュニケーション能力向上、問題解決力

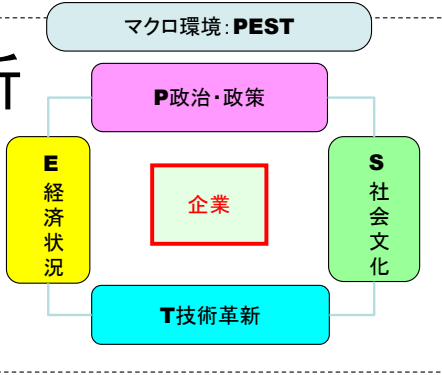


Balanced Score Card



ビジネスモデルキャンバス

PEST分析



0.8. ケース研修のモデル企業

ケース研修のモデル企業

- ケース研修で利用するモデル企業は「**インテリアライフ社**」という旧態依然とした組織の設定で描いた架空の「インテリア製品の卸売業」
- 「インテリアライフ社」は、赤字すれすれの経営状況から情報システムを使って業務改革を行った事例をベースに設定。



※当該企業の写真ではない

0.9. ケース研修を始める前に



グループ(チーム)演習の留意点

- インテリア製品の卸売という特定な業界をモデルにしたケースのため、業界の背景や設定などに着目してしまい、「木を見て森を見ず」という状況になる可能性がある。
- 受講者は、インテリア業界コンサルタントになるのではなく、**ITコーディネータになるためのケース研修**を受講しているので、「実際の『インテリア業界』はこうではない」とか、「政府の製造業支援政策は・・・」とか、「海外の『インテリア業界』は、...」といった議論に嵌り、**IT経営プロセス**を実現する課題の検討が進まなくなるようなことは避けるべき。
- ケース研修を円滑に進めるために、特殊な業界問題に陥ることなく、チームメンバ全員が課題上の役割を担い、**積極的に議論に参加し、前向きで建設的なIT経営を実現させる成果物**を作成すること。



0.10. ケース研修の進め方



ケース研修の前（参加要件）
プロセスガイドラインの理解とモデル企業の状況把握

ケース研修中

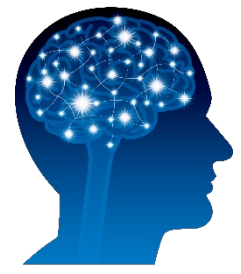
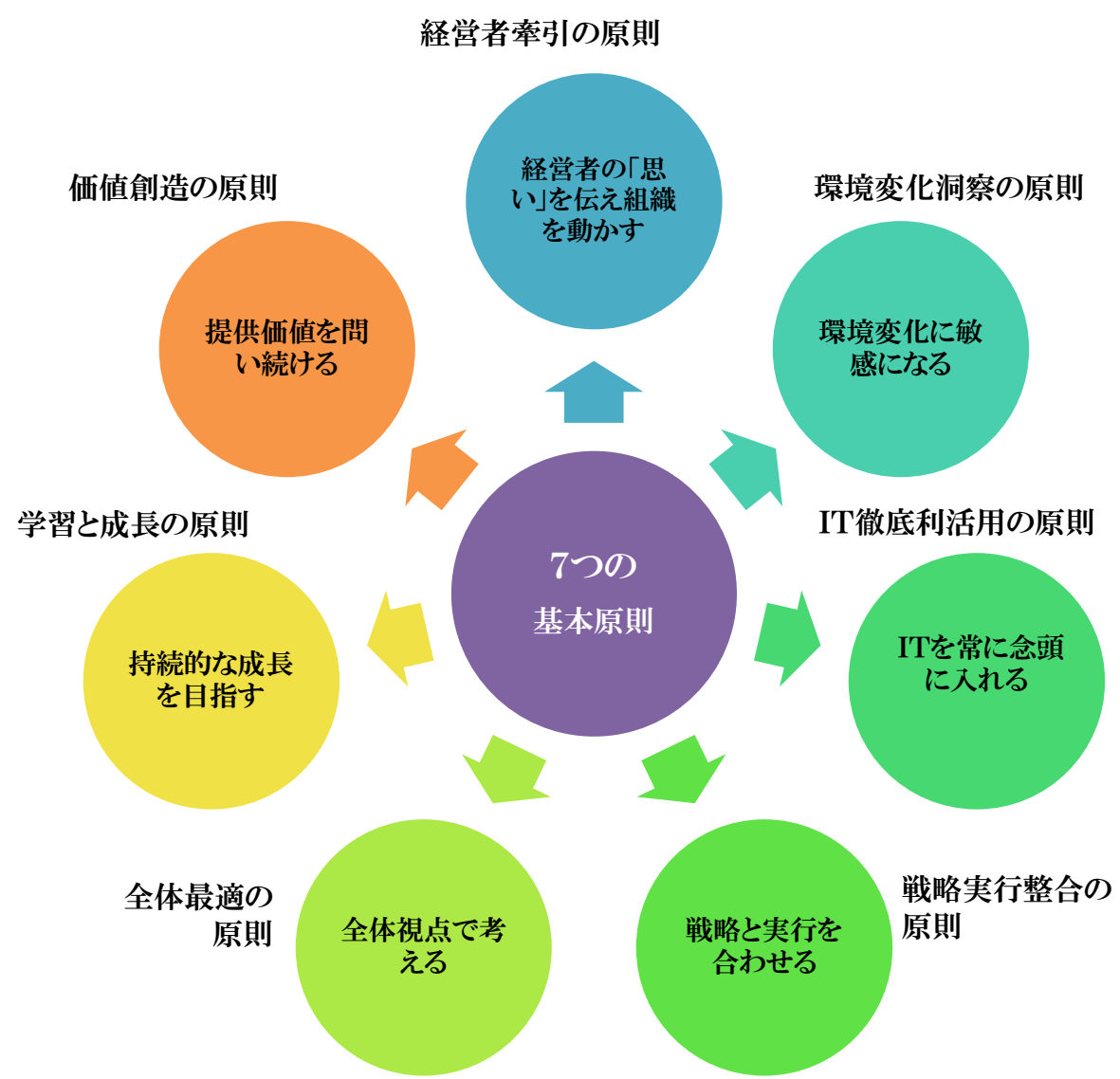
1. プロセスガイドラインの進め方（プロセス）と基本原則を適用したチーム演習に積極的に参加し、モデル企業のIT経営実現に向けた新たな気づきを獲得する
2. チーム内の役割分担を公平に担い、前向きで建設的な成果物の作成を通じて、モデル企業のIT経営実現に向けたツールと成果物を学習する



ケース研修の後

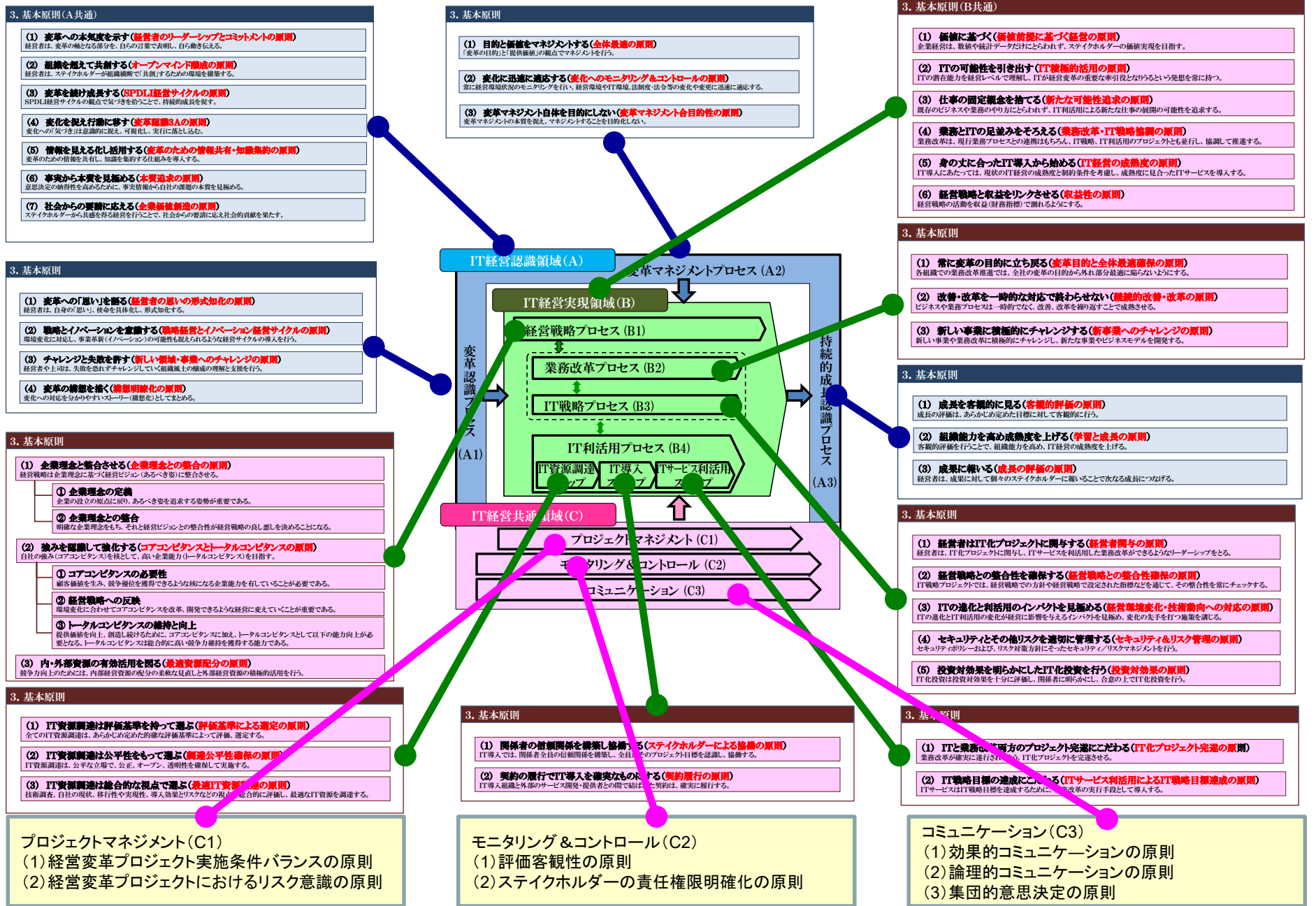
各ステージの終わりに、「構想書」や「企画書」を作成するレポート課題があり、各プロセスの成果物とプロセスガイドラインの進め方（プロセス）と基本原則の理解を深める

0.11.IT経営を成功に導く7つの基本原則



IT経営推進の
際の判断基準

0.12. 領域・プロセス・ステップと原則の関連



ITC試験対策



0.Q.1.IT経営の定義とは？

IT経営とは何か。

- ア. **IT**を活用した経営ビジョンを策定し、ステイクホルダーに明確に理解できる形にする経営手法である。
- イ. **IT**経営とは、経営環境の変化を洞察し、戦略に基づいた**IT**の利活用による経営変革により、企業の健全で持続的な成長を導く経営手法である。
- ウ. **IT**利活用意識をもって経営者に接し、いち早く最先端の**IT**導入の施策を経営者に助言または支援を行う手法。
- エ. 他社で実績のある**IT**利活用をベンチマークし、自社の経営戦略の基幹戦略として採用し実践する経営手法。

解答 イ

IT経営推進プロセスガイドライン p4, p164

P4.「IT経営の定義

ITコーディネータ協会では、「**IT**経営とは、経営環境の変化を洞察し、戦略に基づいた**IT**の利活用による経営変革により、企業の健全で持続的な成長を導く経営手法である」と定義している。(図1.1.1)」

P164.用語定義

0.はじめに

END